

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胆嚢結石症に対する腹腔鏡下および開腹胆嚢摘出術における至適手術時期の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：当院で胆嚢結石症の診断で腹腔鏡下および開腹下胆嚢摘出術を受けられた方

研究対象期間：2018年1月から2023年12月まで

2. 研究目的・方法

目的：胆嚢結石症に対する治療として手術治療、胆嚢摘出術は現在定着し、腹腔鏡手技の進歩により腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われます。通常の胆嚢結石症の手術のみならず、急性胆嚢炎発症後の症例においても腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われるようになりました。しかし手術に伴う合併症を最大限に回避するために、急性胆嚢炎発症後の手術のタイミングとしての至適手術時期は、いまだ明確にされていません。この研究で、当院で腹腔鏡下および開腹下胆嚢摘出術を受けられた患者さんの臨床成績を分析し、胆嚢結石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における至適手術時期を検討研究します。

方法：当院でこれまでに腹腔鏡下および開腹下胆嚢摘出術を受けられた方、今後この術式の手術を受けられる方の臨床データを集積し、3の項目で示した各種データを解析して検討研究します。

研究期間

2021年5月19日から2023年12月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、PS、ASA、既往歴、診断名、重症度、術前内視鏡治療の有無）、手術詳細（施行術式、手術時間、出血量）、治療成績（合併症・偶発症の有無、転帰）、臨床検査データ（血算、生化、凝固、CT所見、MRI所見）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了解いただけない場合には研究対象にしませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

所属：昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科

氏名：木川 岳

住所：〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151

研究責任者：木川 岳